

1 概況

知多西部の一部と西三河地区では冷蔵網1回目の摘採をしています。その他の地区では秋芽網2~4回目の摘採をしています。栄養塩は知多東部と西三河地区では、年末と比べて減少しており、少ない状況となっています。植物プランクトンも知多東部と西三河地区では増加傾向にあり、ユーカンピアが確認された漁場もあります。水産試験場が今週行った調査でも、渥美湾において赤潮が確認されていますので今後の動向を注視する必要があります。水温は昨年並みに下がってきており、魚の食害は終息傾向にあるようですが、カモによる食害は目立ちますので、食害対策にも留意してください。気象庁によると週明けからは昨年より暖くなる予報となっていますので、植物プランクトンの増殖による色落ちや病障害を予防するため、早期摘採と干出などの適切な養殖管理を励行してください。

2 気象・海況

<水温> 1月6日		<水温> 1月7日		<潮位偏差> 1月6日	
1~3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温 8.1 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温 10.2 °C	名古屋港	5日平均* -8 cm
	平年差 -0.2 °C		平年差 -0.8 °C		偏差 -7 cm

※1月2日~6日までの平均

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	北中部:多い、南部:やや少ない	なし	植物プランクトンは少ない~ほとんどいない
知多東部地区	やや少ない~少ない	なし	植物プランクトンはやや多い~散見
西三河地区	やや少ない~少ない	あり	植物プランクトンは多い~少ない
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121~、やや多い:81~120、やや少ない:41~80、少ない:~40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、期間のはじめと終わりは昨年並か昨年より低いですが、中頃は昨年並か昨年より高いでしょう。降水量は、昨年並か昨年より多い見込みです。
-------	--

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病障害 その他
知多西部地区	冷蔵:1回 秋芽:3回	冷蔵:300~450枚 秋芽:800~900枚	概ね良好 一部にB、C系統	カモ>魚	秋芽網はあかぐされ拡大 海況概ね良好
知多東部地区	秋芽:2~4回	600~1,000枚	概ね良好 一部で色落ち気味	魚減少	冷蔵網はごく一部 あかぐされは散見程度
西三河地区	冷蔵:1回	150~400枚	概ね良好 一部でやや赤め	カモ>魚	あかぐされあり 海況一部で濁り
東三河地区	秋芽:2~3回	1,000枚	概ね良好 一部にC系統	なし	青混ぜ主体に生産

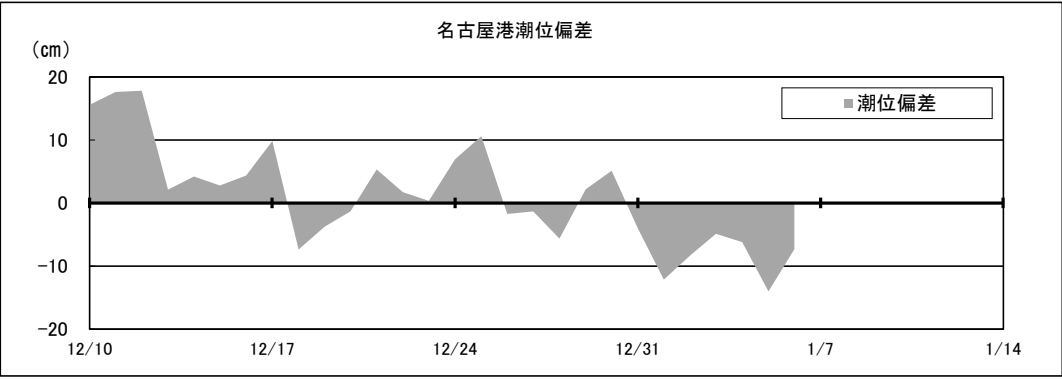
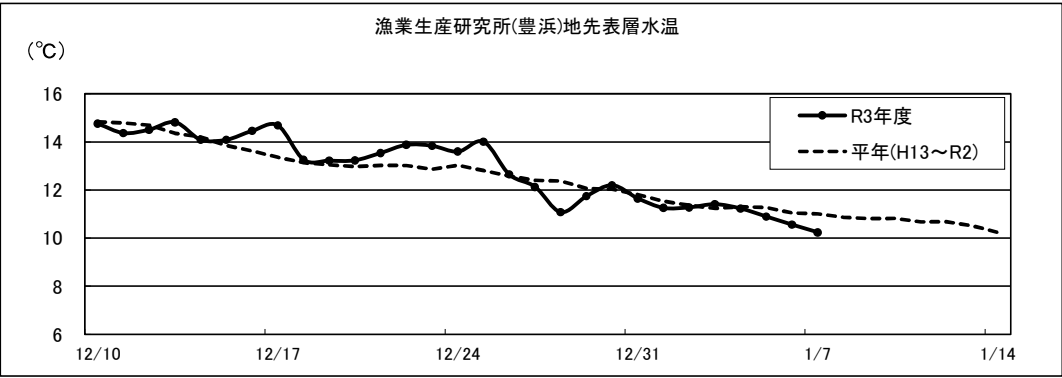
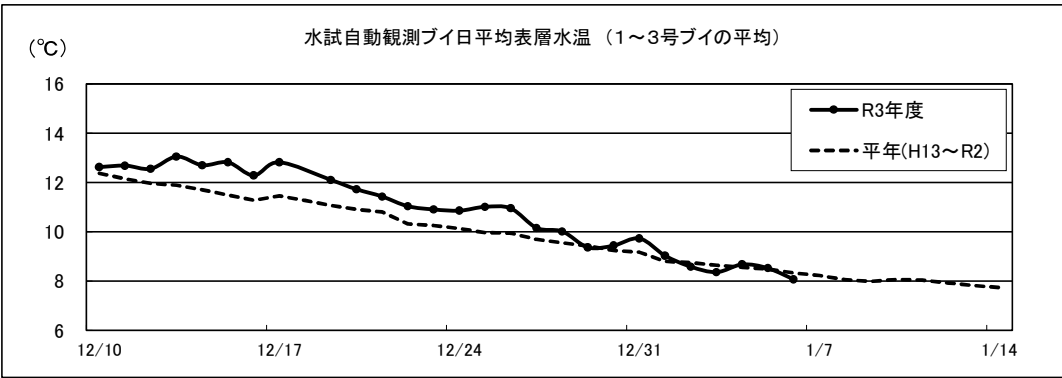
4 今後の管理

- ① 食害が発生している漁場では、防除網等の対策に努めること。
- ② スミノリ症、あかぐされ病等の病障害予防のため、適正な干出をかけ、製品の向上に努めること。
- ③ 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。

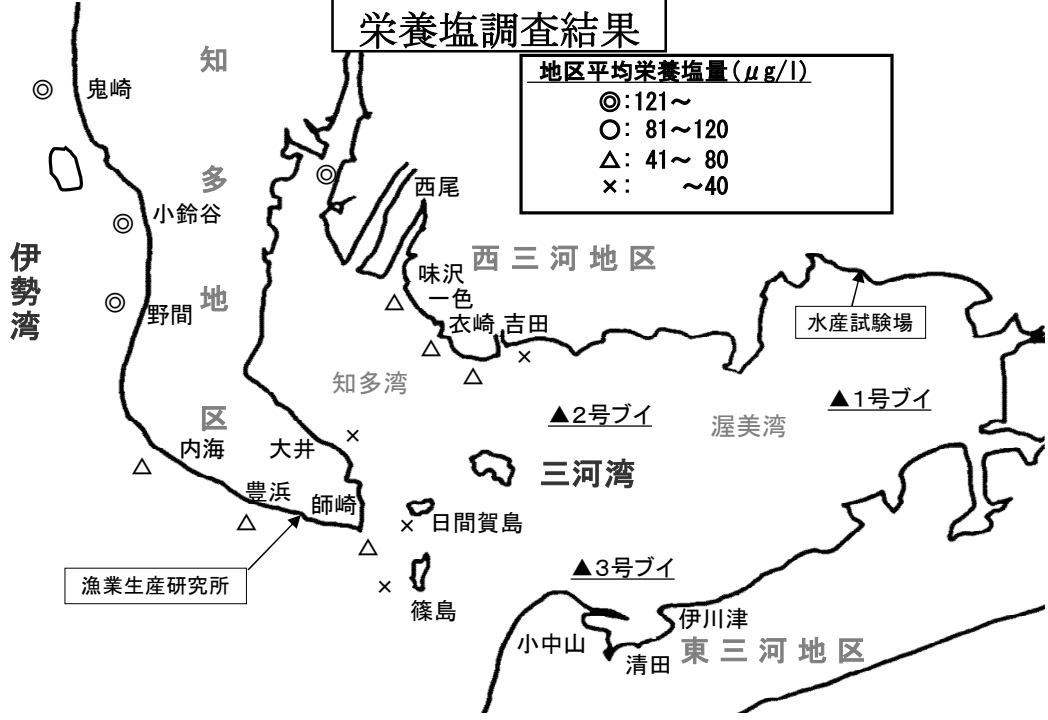
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することができます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <https://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ
次回は1月14日(金)発行予定です。

伊勢湾・三河湾海況データ



栄養塩調査結果



栄養塩調査日: 知多、西三河: 1月6日 (木)
 調査機関: 知多のり研究会、西三のり研究会